



特別展

人間国宝・江里佐代子の

截きりかね金

康慧とともに伝えるしょうごん莊嚴の美

2012年9月15日[土]—11月4日[日]

開館／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 会期中無休
観覧料／一般 800(600)円、大高生 500(400)円、中学生以下無料 ()内は特別割引、及び20名以上の団体料金
主催／公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社 協力／平安仏所



公益財団法人

香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

神戸御影

特別展

人間国宝・江里佐代子の

截金

きりかね

康慧とともに伝える荘厳の美

江里佐代子(1945~2007)は、細く切った金箔等で緻密な荘厳を施す伝統の工芸技法「^{きりかね}截金」を用い、独自の作品を生み出しました。その丹念な仕事ぶりと高い技術力により、2002年に、当時最年少56歳で「重要無形文化財保持者(人間国宝)」に認定されました。従来、仏教美術の装飾技法とされる截金を、工芸品から屏風、衝立、さらに建築空間の施工へと応用し、その豊かな表現性を広めました。本展では、夫である仏師の江里康慧とともに歩み、願いと祈りを込め荘厳してきた、仏像、香盒、飾篋など輝きに満ちた創作世界の作品約100点を紹介します。



©山崎幸恵

ERI Sayoko

截金とは、金箔・銀箔・プラチナ箔を細く切り、貼り合わせて文様を表現する伝統技法。日本では特に仏像・仏画の衣や装身具を荘厳(仏像や仏堂を美しくおごそかに飾ること)する技術として発達した。



◎関連イベント

講演会:9月15日(土)14:00-

講師:江里康慧氏(仏師)

定員50名(当日午前11時より整理券を配布)

※聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。

◎ギャラリートーク

9月22日より毎週土曜日午後2時から
学芸員によるギャラリートーク

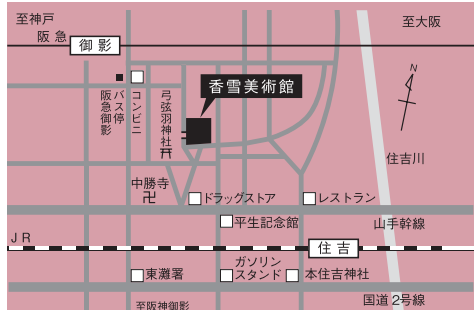
1.截金彩色まり盒子、まり香盒、糸巻香盒、結び文香盒 1982-2007年 / 2.大英博物館截金サンドウィッチガラス碗復元 2010年 / 3.釈尊四大事 2011-12年 / 4.截金彩色飾篋 星座散華 1984年 / 5.截金透塗平案 あけぼの 1993年 / 6.截金色紙箱 煌風 2007年 / 7.毘沙門天立像 2006年

1、4、5、6 江里佐代子作、2 左座朋子作、3 江里康慧作、7 江里康慧、佐代子作

写真:1、6、7 ©山崎幸恵 / 3、4、©木村尚達

次回展 江戸・寛永文化と茶人展(仮)
11月10日(土)~12月16日(日)

江戸・寛永時代(1624-1645)の茶人に
ちなんだ茶道具とその交流を紹介。



・阪急「御影」駅より東南へ徒歩5分
・JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分
・阪神「御影」駅より市バス19系統「阪急御影」下車徒歩5分



香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
Tel. 078-841-0652
<http://www.kosetsu-museum.or.jp>